民有林材のシステム販売に取り組んでいます

令和２年７月２０日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、多くの人工林が主伐期を迎える中、立木販売、素材生産事業等を通じて、国有林材の計画的・安定的な供給に努めています。

特に、素材のシステム販売では、7,420m3(一般材 2,810m3、低質材 4,610m3)を予定しており、素材の計画的・安定的な供給に資することとしています。

システム販売とは、合板用、バイオマス発電用など需要の拡大が必要な一般材、原料用材等の計画的・安定的な供給を図るため、あらかじめ協定を締結した製材工場、原木市場需要者へ直接、山元にて販売する制度です

広島北部森林管理署では、今年度初めて国有林のシステム販売を活用して民有林材を販売することに取り組むこととしており、7 月 16 日、公告中の国有林材のシステム販売(スギ(一般材)500m3)と民有林材(ヒノキ(一般材)50m3)の現地説明会を行いました。

公告中のシステム材について説明する担当者

公告物件について確認する参加者

現地説明会では、当署担当者から公告物件の樹種、数量、搬出因子などの説明を行うとともに、署長から、民有林材について詳細に説明しました。このように、広島北部森林管理署では、民有林材を含めた国有林材の計画的・安定的に供給に努めていきます。